2009年度 第2四半期決算 及び 通期見通し

マツダ株式会社
2009年10月29日

概要

- 総括
- 2009年度 第2四半期累計実績
- 2009年度 通期業績見通し
- 公募増資・自己株式の売出し等 及び環境・安全への取組み
- まとめ
- 質疑応答

総括

2009年度 第2四半期累計 ハイライト

- 第2四半期の営業利益は59億円、黒字化を前倒しで達成
  更に全ての利益レベルでも黒字化を達成
- 第2四半期累計の売上高は9,903億円、
  営業損失は221億円、当期純損失は208億円
- 第2四半期累計のフリーキャッシュフローは102億円の
  黒字を達成
- 稼働率80%(国内工場)で利益を確保できるコスト構造へ転換
- 新型アクセラ/Mazda3の好調及びスクラップインセンティブ等
  の効果により販売台数は全ての主要地域で、5月見通しを
  過達
- 世界で最も環境負荷の少ない新水性塗装技術
  「アクアテック塗装」の開発に成功、宇品第1工場に導入

2009年度 通期見通し ハイライト

- 売上高は2兆1,300億円、営業損失は120億円、当期純損失は170億円
- 営業損益は期初見通しから380億円の上方修正
- 下期営業利益見通しは、期初見通し通り。また、全ての利益レベルで黒字化見通し
- グローバル販売台数は期初見通しから5万5千台過達の115万5千台。昨年からの減少幅は通年では8%に縮小 下期は3%増加の見通し
- フォードとの合弁会社であるAATの新乗用車工場でMazda2 の生産を開始
- 公募増資・自己株式売出し等により、環境・安全への取り組み強化 及び財務基盤を改善

2009年度 第2四半期累計実績

2009年度 第2四半期累計 財務指標

(億円)	2009年度			第2四半期累計 増/(減)	
	1Q	2Q	計	対前年	対5月公表
売上高	4,282	5,621	9,903	(5,852)	603
営業利益	(280)	59	(221)	(828)	379
経常利益	(327)	31	(296)	(781)	374
税引前利益	(335)	19	(316)	(784)	374
当期純利益	(215)	7	(208)	(503)	292
売上高営業利益率	(6.5)	1.1	(2.2) %	(6.1)	4.3 Pts
EPS(円/1株)	(16.4)	0.5	(15.9)	(36.8)	4.0

主要データ

(億円)
第2四半期累計 実績
800
600
400
200
0
599
159
海外子会社
ツーリング費用
379
384
563
397
FY08
FY09
FY08
FY09
FY08
FY09
設備投資
減価償却費
研究開発費

キャッシュフロー及び純有利子負債

(億円)	2009年度 1Q	2009年度 2Q	2009年度 1-2Q 計	2008年度 通期
キャッシュフロー				
- 営業	15	246	261	(674)
- 投資	(113)	(46)	(159)	(618)
- フリーC/F	(98)	200	102	(1,292)
純有利子負債	5,469	5,216	5,216	5,326
純有利子負債 自己資本比率	137	129	129	129 %

主要データ

	第2四半期累計		
	2009年度	2008年度	増/(減)
グローバル販売台数 (千台)	577	701	(18) %
為替レート			
円 / U.S.ドル	96	106	¥ (10)
円 / ユーロ	133	163	¥ (30)

売上高変動内訳

2009年度 第2四半期累計　対前年比較

日本

- i-stopを搭載する新型アクセラの好調及びエコカー減税・補助金の影響により、5月公表を9千台過達
- アクセラの販売台数が目標を上回り、上期として過去最高を記録
- 販売会社の採算は大幅に改善
- 登録乗用車に占める優遇税制対象車の比率は86%

北米

新型Mazda3

- 新型Mazda3の好調やスクラップインセンティブにより、5月公表を8千台上回る15万8千台を達成
- 米国では、ノンフリート販売で過去10年で最高の1.8%のシェアを達成
- カナダでは新型Mazda3の販売は第3位を獲得
- 新型Mazda3の残存価値は大幅に改善

欧州

Mazda CX7 ディーゼル

- 各国のスクラップインセンティブの効果などにより、5月公表を上回る12万3千台を達成
- 市場環境が悪化する中、ブランド価値を維持する戦略を継続
- 新型Mazda3の導入以降、主要国であるドイツ、英国では継続してシェアパフォーマンスが改善

中国

新型Mazda6睿翼

- Mazda6の好調な販売継続及び、長安マツダ販売網の整備に伴うMazda2、Mazda3の販売増により対前年35%増加、過去最高の8万5千台を達成
- 現地ブランドを除いたシェアは着実に改善
- 一汽マツダ汽車販売に増資し、販売網を強化。店舗数は2つの販売網の合計で241店舗と、前期末に対し20店増加

その他市場

Mazda2 AAT生産車両

- 5月公表に対し、1万2千台の過達
- オーストラリアは引き続き好調を維持しており、3万9千台を達成過去最高となる8.2%のシェアを獲得
- ニュージーランドでは過去10年間で最高のシェアを獲得
- イスラエルで新型Mazda3が新車登録ランキング1位を維持

営業利益変動

(億円)
2009年度 第2四半期累計　対前年比較
改善
(悪化)
FY2008
607
グローバルでの販売減少
台数・構成
(1,227)
USドル　(77)
ユーロ　(180)
その他　(303)
為替
(560)
コスト削減
+ 291
販売費用
+ 193
その他
+ 475
FY2009
(221)
500
0
(500)
(1,000)
(1,500)
対前年増(減)　(828)

営業利益変動

2009年度 第2四半期累計　対前年比較

売上高及び収益トレンド

(千台)	FY2008 1Q	FY2008 2Q	FY2008 3Q	FY2008 4Q	FY2009 1Q	FY2009 2Q
グローバル販売台数	358	343	263	297	263	314
グローバル生産台数	353	352	302	172	235	310
連結出荷台数	318	330	243	225	181	250
総在庫増/(減)	(5)	9	39	(125)	(28)	(4)

2009年度 通期見通し

2009年度 財務指標見通し

(億円)	2009年度 1-2Q	2009年度 3-4Q	2009年度 通期	通期 増/(減) 対前年	通期 増/(減) 対5月公表
売上高	9,903	11,397	21,300	(4,059)	1,000
営業利益	(221)	101	(120)	164	380
経常利益	(296)	136	(160)	27	440
税引前利益	(316)	106	(210)	303	440
当期純利益	(208)	38	(170)	545	330
売上高営業利益率	(2.2)	0.9	(0.6) %	0.5	1.9 pts
EPS(円/1株)	(15.9)	2.9	(13.0)	39.2	25.2

主要データ

(千台)

	2009年度			増/(減) 対前年			増/(減) 対5月公表
	1-2Q	3-4Q	通期	1-2Q	3-4Q	通期	通期
グローバル販売台数							
日本	105	113	218	(18)	17	(1)	18
北米	158	143	301	(42)	(4)	(46)	11
欧州	123	115	238	(56)	(28)	(84)	(12)
中国	85	100	185	22	28	50	15
その他	106	107	213	(30)	5	(25)	23
合計	577	578	1,155	(124)	18	(106)	55
為替レート							
円 / U.S.ドル	96	88	92	(10)	(7)	(9)	(3)
円 / ユーロ	133	130	132	(30)	5	(12)	7

営業利益変動

2009年度通期　対前年比較

営業利益変動

2009年度通期　対前年比較
(億円)
改善
(悪化)
合計　1,714億円の
コスト削減
0
(500)
(1,000)
(1,500)
(2,000)
FY2008
(284)
台数・構成
(700)
為替
(850)
コスト削減
+ 680
販売費用
+ 260
その他
+ 774
1,000億円を超える
固定費の削減
FY2009
(120)

稼働率80%(国内工場)で利益を確保できるコスト構造へ転換

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	2H
USドル	105	108	96	94	97	94	88
ユーロ	163	162	127	122	133	134	130

公募増資・自己株式の売出し等
及び 環境・安全への取組み

公募増資・自己株式の売出し等について

目的

- 環境・安全対応車に対する研究開発費と設備投資資金の確保
  ーガソリンエンジンやディーゼルエンジンなど内燃機関の効率改善をベースとした次世代商品群に係る投資、及びハイブリッドを含む電気デバイスへの投資加速
- 財務基盤の改善

概要

- 最大で4億6千万株の公募増資 及び自己株式売出し等により、最大939億円を調達見込み
- 自己資本比率は25%を超え、純有利子負債自己資本比率は100%を切る見通し(注)

注：上期末の実績に対し、最大939億円の増資等資金調達を単純反映した試算値

環境・安全への取組み強化　1

- 環境・安全への取組みを強化
- 「サステイナブル”Zoom-Zoom”宣言」のもと、マツダスカイコンセプトに基づく次世代パワー トレインを順次開発
  - 次世代直噴ガソリンエンジン「マツダ SKY-G」は2011年に世界に先駆け、国内に導入
  - 次世代クリーンディーゼルエンジン「マツダ SKY-D」はグローバルに展開。2012年に国内導入
  - 「マツダ SKY-G」・「マツダ SKY-D」共に、次世代オートマチックトランスミッション「マツダ SKY-Drive」と組み合わせて導入
- 交通環境におけるサステイナブルな未来に向けて、先進の安全技術開発を推進

環境・安全への取組み強化　2

～　すべてのお客様に「走る歓び」と「環境安全性能」を提供　～

Step-1
i-stop

アクセラ

ビアンテ

Step-2
減速ｴﾈﾙｷﾞｰ回生

ｺﾝﾊﾟｸﾄｶｰ ｺﾝｾﾌﾟﾄ
マツダ 清(きよら)

デミオクラスで32 km/ℓの燃費

Step-3
HEV

バッテリー

① モータージェネレーター
② 回生ブレーキ
③ トランスミッション

プラグイン HEV
バッテリー EV

プレマシー
ハイドロジェンRE
ハイブリッド

ビルディング ブロック戦略による環境技術の進化

まとめ

- 第2四半期に営業利益の黒字化を前倒しで達成
- キャッシュフローの黒字化も上期で達成
- 下期営業利益見通しは、期初見通し通り。また、全ての利益レベルで黒字化の見通し
- 国内工場の稼働率80%で利益を確保できるコスト構造への転換を加速
- 通期で1千億円の固定費削減は計画通り進捗
- 新型アクセラ/Mazda3は、グローバルで高い評価を受け販売好調
- フォードとの合弁会社であるAATの新乗用車工場でMazda2 の生産を開始
- 増資等により環境・安全対応を加速、財務基盤を改善
- モノ造り革新を中心とする構造改革の加速

質疑応答

「マツダ 清（きよら）」 ～走りの良さと超低燃費～

「アイドリングストップ技術 “i-stop”」と「減速エネルギー回生システム」を組み合せ、デミオクラスで32Km/Lの燃費

コンパクトカー コンセプト

- ✓ 次世代直噴1.3Lガソリンエンジン、SKY-G
- ✓ 次世代　6速A/T、SKY-Drive
- ✓ アイドリングストップ技術 “i-stop” ･････*Step-1*
- ✓ 減速エネルギー回生システム　　･････*Step-2*
- ✓ 現行デミオ比100kg以上の軽量化と空力特性の向上

mazda

添付

2009年度 財務指標見通し

(億円)	2009年度 1-2Q	2009年度 3-4Q	2009年度 通期		対10月5日見通し 増/(減) 1-2Q	対10月5日見通し 増/(減) 通期	
売上高	9,903	11,397	21,300		(97)	0	
営業利益	(221)	101	(120)		9	10	
経常利益	(296)	136	(160)		29	30	
税引前利益	(316)	106	(210)		39	30	
当期純利益	(208)	38	(170)		52	90	
売上高営業利益率	(2.2)	0.9	(0.6)	%	0.1	0.0	pts
EPS(円/1株)	(15.9)	2.9	(13.0)		4.0	6.9	

主要データ

(千台)	2009年度			通期増減	
	1-2Q	3-4Q	通期	対前年	対5月公表
連結出荷台数					
日本	105	113	218	(2)	18
北米	126	164	290	(58)	17
欧州	109	116	225	(68)	(15)
中国	5	10	15	(2)	0
その他	86	96	182	(56)	20
合計	431	499	930	(186)	40

主要データ

(億円)
1,000
500
0
818
300
752
780
960
920
海外子会社
ツーリング費用
FY08 FY09
設備投資
FY08 FY09
減価償却費
FY08 FY09
研究開発費

2009年度 第2四半期財務指標

(億円)	第2四半期		増/(減)	
	2009年度	2008年度	金額	Pct.
売上高	5,621	8,037	(2,416)	(30) %
営業利益	59	324	(265)	(82) %
経常利益	31	256	(225)	(88) %
税引前利益	19	242	(223)	(92) %
当期純利益	7	145	(138)	(95) %
売上高営業利益率	1.1	4.0 %	(2.9) Pts	-
EPS(円/1株）	0.5	10.3	(9.8)	(95) %

主要データ

	第2四半期			
	2009年度	2008年度		増/(減)
グローバル販売台数(千台)	314	343		(9) %
為替レート				
円 / U.S.ドル	94	108	¥	(14)
円 / ユーロ	134	162	¥	(28)

主要データ

	第2四半期		
	2009年度	2008年度	増/(減)
グローバル販売台数(千台)			
日本	64	69	(5)
北米	84	91	(7)
欧州	64	86	(22)
中国	44	30	14
その他	58	67	(9)
合計	314	343	(29)
連結出荷台数(千台)			
日本	63	65	(2)
北米	73	105	(32)
欧州	66	89	(23)
中国	3	3	0
その他	45	68	(23)
合計	250	330	(80)

営業利益変動

(億円)
2009年度 第2四半期　対前年比較
改善
(悪化)
FY2008
324
台数・構成
(539)
為替
(267)
コスト削減
+ 183
販売費用
+ 81
その他
+ 277
FY2009
59
0
(600)
対前年増(減)　(265)

営業利益変動

(億円)
2009年度 対5月公表比較
対5月公表増(減) ＋380
0
(300)
(600)
5月公表
(500)
台数・構成
＋190
為替
＋110
コスト削減
0
販売費用
(30)
その他
＋110
10月公表
(120)
改善
(悪化)

売上高　所在地別

(億円)
6,000
3,000
0
その他
欧州
北米
日本
7,718
782
2,059
2,165
2,713
8,037
697
2,161
2,317
2,861
5,124
469
1,147
1,225
2,281
4,480
340
1,042
1,066
2,033
4,282
489
955
1,005
1,832
5,621
516
1,375
1,373
2,357
FY2008
FY2009
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q

売上高　製品別

(億円)
6,000
3,000
0
その他
部品
車両・
海外生産
用部品
7,718
774
722
6,222
8,037
736
788
6,513
5,124
736
595
3,793
4,480
672
623
3,185
4,282
561
531
3,191
5,621
620
573
4,428
FY2008
FY2009
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承願います。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。